

岐阜市新庁舎の建物形状等に関する意見

岐阜市では、中心市街地に位置する岐阜大学医学部等跡地において事業を展開している『つかさのまち夢プロジェクト』の第1期として、市立中央図書館を中心とした複合施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と共に、「みんなの広場 カオカオ」や「せせらぎの並木 テニテオ」を整備しました。

新庁舎建設地はこれらの施設に隣接していることから、新庁舎の配置や形状は、これらとの調和を図るための重要な要素と考えております。

そのため、去る10月5日に「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の設計者である伊東豊雄氏に、新庁舎の建物形状等に関するご意見をいただきました。

1. 建物形状等に関する意見

(1) 建物の配置計画や形状

新庁舎建設地は、ぎふメディアコスモスやカオカオと隣接しており、岐阜市が示された配置計画は、カオカオが広くなり、広場としての機能性が高まることから、賛同いたします。

なお、この広場を新庁舎の建設に合わせ、改めて一体的な広場として整備すると良いと思います。私どもとしては、庁舎低層部の北西角をきちっと出して、そのまま大きなカーブで広場を囲い込むような形状にすると、広場に1つのはっきりとしたインパクトが生まれるのではないかと思います。

また、駐車場の北西角についても、この大きなカーブと連動するよう、もう少し南に下げると、印象が違ってくると思います。

庁舎の形状については、低層部の高さをメディアコスモスと合わせることで調和を図り、さらに、高層部を東に寄せることで、広場への日照や、周辺の風環境について配慮したと伺いました。

(2) 周辺環境との調和

私どもは、ぎふメディアコスモスを設計する際に、広場から金華山への眺望に配慮しておりましたが、南側の隣接民有地を取得予定ということで、駐車場北側も自由に設計できることから、金華山への眺望も保たれると思います。

また、現在、広場の東側にある樹木につきましては、広場の設計者からもうまく残せるなら残してほしいと伺っており、私どもも同様に考えているところでもあります。